

インクルーシブな行動の例

当社は、いかなる個人またはグループも歓迎、尊重、サポート、称賛、評価され、またそのように感じて、全面的に仕事に参加し、本来の自分を出せる環境を作ることが非常に重要だと考えています。時には些細なことから、インクルーシブである、またはそうでないと感じる環境の違いが生じます。

以下は、制作スタッフが過去に取り入れていたアイデアです。インクルーシブな環境作りには、これらを取り入れることができます。これらを試して、実験しながら、アイデアをさらに増やしていくことをお勧めします。

- **スタッフメンバーの名前を覚えて、使う**（例：現場にいる全員にネームタグを用意する。マスクをしていれば、写真を付ける）。
- **代名詞特定フォーム**を使用して、スタッフの代名詞（任意）を尋ね、香盤表および/またはスタッフリストで共有する。それらが敬意を持って使用されるようにする。
- **以下のものに、インクルージョンに関する声明**（例：職場における文化に関する同意書）**やリソースの電話番号/ホットライン/メールアドレスを記載する**。
 - 契約内容のメモ
 - 開始フォーム
 - 香盤表
 - 制作会議
- **食事の好み/制限について尋ね**、それに従って変更を行う。
- **初日に全員にあいさつし、彼らの好きなコーヒー/紅茶を注文する**。適宜ミルクも用意する。
- **障がいのあるキャストまたは撮影スタッフ用の宿泊施設**を用意する。
- **スタッフ全員についてよく知る**。彼らの経験について話し、現場のさまざまな人たちとつながってネットワークを多様化する。
- **さまざまなバックグラウンド**（歴史的に過小評価されてきた人たちなど）、**経験、アイデンティティ**を持つ人たちが会議に参加し、多様な視点やアイデアを持てるようにする。
- **インクルーシブな行動を朝の会議に取り入れる方法**：
 - **明確な基本ルールを決めて**、それに従う。人の話を邪魔せず、よく聞き、全員の意見を評価する。誰かが話を中断されてしまったら、最後まで話し終える機会を持てるようにする。お互いに説明責任を持つ。
 - **簡単なチームビルディングのアクティビティ**を朝の会議に取り入れる。例えば、次のような質問をする。
 - 今日はどんな日にしたいですか？
 - 昨日の良かったことは何ですか？
 - 昨日の「トップクルー」は誰でしたか？
 - スタッフに影響を与える可能性のある大きな出来事が起きている場合は、彼らにどう感じているか尋ねる。
- **安全に関する会議中にインクルージョンと心理的安全性の重要性を強調する**。例：
 - これを言う/その練習をしない。
 - 「やあみんな」の代わりに「みんなやあ」と言う練習をします。
 - 「何が起こったのか、なぜ起こったのか」ではなく、「次回のためにこれをどのよう

に修正できるのか」と尋ねます。

- 責めずに信頼を築く。
- 新しいアイデアを求める方法を探す。誰かまだ話していない人がいたら、意見を尋ねる。
- スタッフがあなたと合わない意見を持っているかもしれないことを尊重する。**心を開き、好奇心を持って**、話を聞き、質問する。返答するときは、建設的に話す。
- フィードバックを受け入れる。
- 意思決定に自分の部門のメンバーを参加させる。
- 非言語コミュニケーションに気を配る。誰かが困惑しているように見えたら、理解しているか確認する。同意していないように見えたら、意見を求める。
- プロダクションに提供されたマイクロアグレッションのツールキットを確認して、自分が意図せず他人に対して行っているかもしれないマイクロアグレッションについて**学ぶ**。あなたがマイクロアグレッションを行っていると、誰かが勇気をもって伝えてくれた場合は、自分を守ろうとするのではなく、フィードバックを受け入れ、フィードバックは贈り物であることを忘れないようにする。
- **現場でメンターシップのペア/プログラムを作る**。新しい人を経験のある人と組み合わせることで、制作中に相談することができる。
- 機会のある「頼りになる」人のところに行かなければならない傾向に挑戦してください(たとえば、すべてのニーズに対応する同じプロダクションアシスタントに移動しますか?あなたの乗組員の誰が現在同じものを得ていないか 機会)。
- **他の人の貢献を目に見えるように評価する**。日の終わりに彼らの仕事に対して感謝することを忘れない。貢献した人たちが功績を認められるようにする。

制作現場でもっとインクルーシブな環境を作るために役立ったことが他にもあれば、ぜひお知らせください！より安全でインクルーシブな制作空間を作ることができるよう、サポートします。他にも質問がある場合や、サポートが必要な場合は、プロダクション人事の担当者またはスタジオのエクイティ&インクルージョンチームまでご連絡ください。